

教育通信

青森市民病院 看護局 令和7年. 2月号



令和6年度 看護研究 発表会



令和7年2月14日、教育委員会主催
【看護研究発表会】が、開催されました。

演題

第1席

新型コロナウイルス感染症対策に伴う面会制限下での褥婦の
思いとエジンバラ産後うつ質問票の変化について

3西病棟 ○平葭真澄 山田しのぶ 加藤智恵子



第2席

フィッシュ哲学活動導入によるHCUに勤務する看護師の仕事
へ対するモチベーションの変化

HCU病棟 ○増田優(3東) 坂本輝子



座長:月永浩子(教育委員長)
講評:赤石真由美(教育担当)
総評:山崎智子看護局長



コロナ禍を経験し、予定よりも長い期間、看護研究と関わりを持ち続けた研究者の皆さん、本当にお疲れ様でした。たくさんの学びは今後の看護に活かされていくと思います。
素敵な看護研究を、まずは学会発表に向け、もう少しお付き合いください。(教育担当より)

今月の一言

「看護の17レクシオン! 思考や感情、行動を整理してみよう」

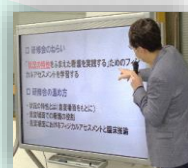


教育通信

青森市民病院 看護局 令和7年 3月号



『フィジカルアセスメントを学ぼう!』



令和7年3月4日 青森県立保健大学 千葉武揚先生を迎え、

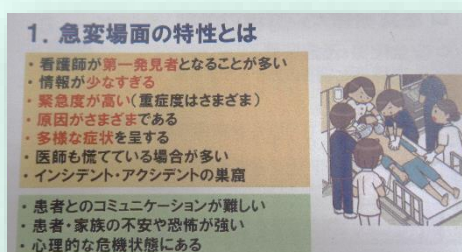
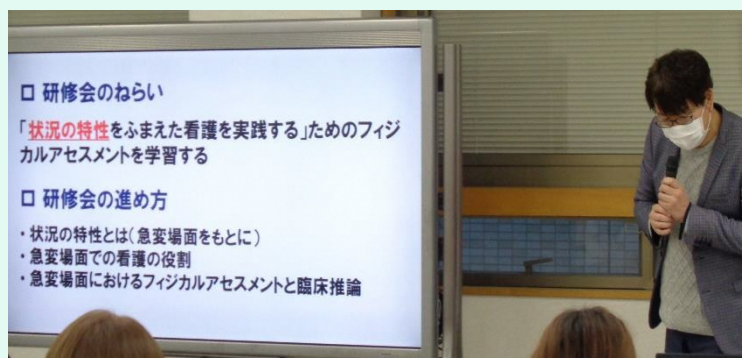
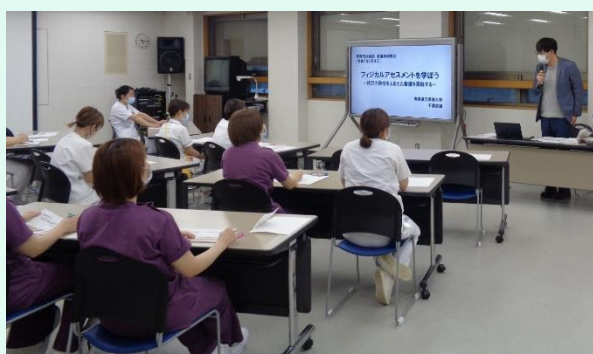
『**フィジカルアセスメントを学ぼう!**』研修会が開催されました。

研修会では、急変場面を想定し、急変の前兆・予測、「おかしい」と気づくポイントや、看護の役割について、とても具体的に講義をしていただきました。

後半には、**臨床推論**について、その考え方を一緒に体験することが出来ました。

研修参加者は、これから【研修後課題】に取り組めます。学んだ知識を、現場の患者さんに活かし、自分の看護をリフレクションして行きましょう。

とても、学びの多い研修会です。まだ参加されていない方は、ぜひ次回参加してみてくださいはどうか?お待ちしております。(教育担当)



今月の一言 「 新たな一歩に向けて 」

